

第42回宇宙開発委員会（臨時会議）

議 事 次 第

1. 日 時 平成11年11月15日（月）
 21：00～
2. 場 所 科学技術庁 第1・2会議室
3. 議 題 (1) H-IIロケット8号機による運輸多目的衛星（MTSAT）の打上げ失敗について
 (2) 技術評価部会への審議付託について
 (3) その他
4. 資 料 委42-1 H-IIロケット8号機／運輸多目的衛星の打上げ失敗について
 委42-2 H-IIロケット8号機打上げ失敗の原因究明及び今後の対策について（案）

さしかえ

宇宙開発委員会（臨時会議）と技術評価部会（臨時会議）の開催について

平成11年11月15日
宇宙開発委員会事務局

上記会合を下記の要領で開催いたします。なお、本会合は一般に公開する形で行います。

記

【宇宙開発委員会（臨時会議）】

日 時 平成11年11月15日（月）
21：00～

場 所 科学技術庁 第1・2会議室

議 題 (1) H-IIロケット8号機による運輸多目的衛星（MTSAT）の
打上げ失敗について
(2) 技術評価部会への審議付託について
(3) その他

【技術評価部会（臨時会議）】

日 時 平成11年11月16日（火）
16：30～

場 所 科学技術庁 第7会議室（通産省別館9階）

議 題 (1) H-IIロケット8号機の打上げ失敗について
(2) その他

○一般傍聴者席 宇宙開発委員会 10席
技術評価部会 20席

○一般傍聴者の受付

- ・傍聴を希望される方は、それぞれの会議の開催2時間前までに、科学技術庁研究開発局宇宙政策課まで、氏名と連絡先をご連絡下さい。
- ・受付は、基本的には申し込み順としますが、多数の傍聴者が予想される場合には、抽選となる場合もございます。
- ・官舎管理等の観点から、入場等に身分証明書等の提示を求められますので、社員証、運転免許証その他本人の確認ができるものを持参して下さい。

○報道関係傍聴者の受付

- ・傍聴を希望される方は、それぞれの会議の開催2時間前までに、科学技術庁研究開発局宇宙政策課まで、氏名と所属機関を登録して下さい。
- ・報道関係傍聴者は、原則として1社につき1名とし、入場の際には、社名入り腕章を携帯して下さい。

（本件の問い合わせ先）

科学技術庁研究開発局宇宙政策課 梅北、田中

電話：03-3581-5271（内線：454）、03-3581-0603（直通）

FAX：03-3503-2570

H-IIロケット8号機／運輸多目的衛星の打上げ失敗について

平成11年11月15日

宇宙開発事業団

1. 経緯

- H-IIロケット8号機(図-1)については、平成11年11月15日午前3時より打上げ当日の作業を開始した。
- 打上げは、当初予定時刻である11月15日 16時29分(日本標準時)に行われた。
- 固体ロケットブースタ分離後、第1段主エンジンの燃焼の異常停止により予定の飛行経路から外れたため、指令破壊信号を送信した。
- 直ちに宇宙開発事業団本社及び種子島宇宙センターに事故対策本部を設置した。

2. 打上げ時の状況について

(1) 天候

打上げ時の天候は以下のとおり。

天候: 晴れ

地上の風向、風速: 北北東の風、7.7m/s

気温: 22.5 °C

(2) 飛行状況

飛行中時の主要イベントについて表-1に示す。ロケットは、第1段主エンジンの燃焼の異常停止により、計画の経路を大きく外れ全ての追跡局(種子島2局、小笠原局)においてロケットからのデータ受信が不可となったため、打上げ後約7分41秒に指令破壊信号を送信した。

(3) 落下推定地点等

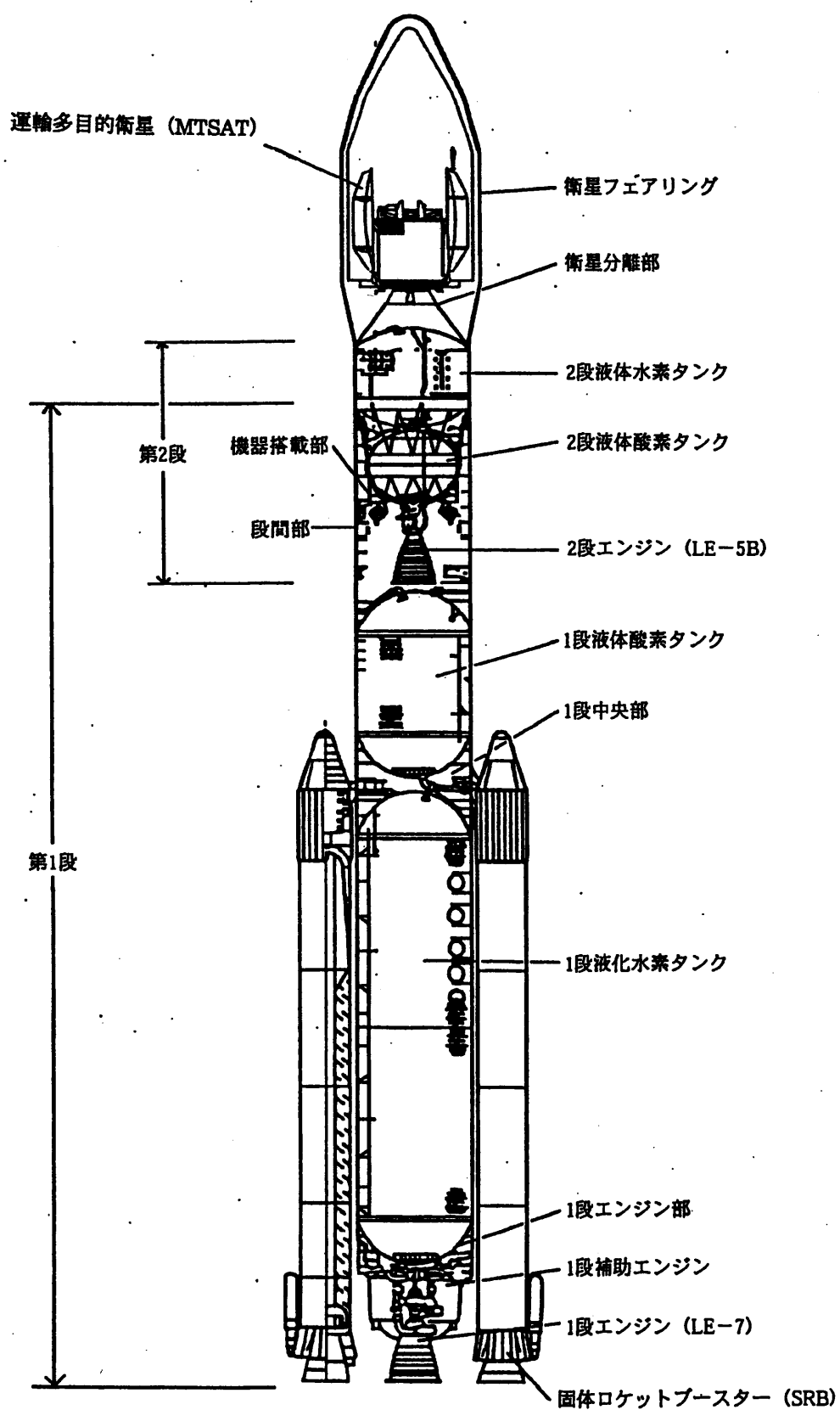
指令破壊されたロケットについては、衛星フェアリング落下予想区域内の太平洋上小笠原諸島父島の北西約150km に落下した。指令破壊時の高度及び落下推定地点については以下のとおりである。

指令破壊時の高度: 約46km

落下推定中心地点: 東経 約139.45度 北緯 約29.43度

3. 今後の対応について

事故対策本部による原因究明作業を開始する。



図一1 H-II ロケット 8号機外観

表-1 H-IIロケット8号機主要イベント
(リフトオフ後の時間)

イ ベ ント	実測値(速報)	計画値
①リフトオフ	0秒	0秒
②固体ロケットブースタ燃焼終了	1 分 31秒	1分 34秒
③固体ロケットブースタ分離	1 分 37秒	1分 37秒
④衛星フェアリング分離	4 分 50秒	4分 15秒
⑤第1段主エンジン燃焼停止(MECO)	3 分 59秒	5分 46秒
⑥第1段・第2段分離	5 分 22秒	5分 54秒
⑦第2段エンジン第1回燃焼開始(SEIG1)	5 分 30秒	6分 0秒
●全系オフ(全ての射場局の受信が不可)	7 分 35秒	
●指令破壊コマンド送信	7 分 41秒	
⑧第2段エンジン第1回燃焼停止(SECO1)	分 秒	11分 28秒
⑨第2段エンジン第2回燃焼開始(SEIG2)	分 秒	24分 10秒
⑩第2段エンジン第2回燃焼停止(SECO2)	分 秒	27分 14秒
⑪MTSAT分離	分 秒	28分 49秒

H-II ロケット 8 号機 打上げ失敗の原因究明及び今後の対策について（案）

平成 11 年 11 月 15 日

宇宙開発委員会決定

1 調査審議事項

このたび、宇宙開発事業団が行った H-II ロケット 8 号機の打上げが失敗し、所期の目的が達成されなかった事態を踏まえ、今回の打上げ失敗の原因を究明し、併せて、今後の対策等について調査審議を行うものとする。

2 調査審議の進め方

上記の原因究明に必要な技術的事項について、できる限り速やかに技術評価部会において調査審議を行うものとする。

(参考)

宇宙開発委員会技術評価部会構成員

(部会長)

井口 雅一

(財)日本自動車研究所長、東京大学名誉教授

(部会長代理)

原島 文雄

東京都立科学技術大学学長

上杉 邦憲

文部省宇宙科学研究所教授

遠藤 怜

日本航空(株)整備本部副本部長

恩澤 忠男

東京工業大学工学部教授

木村 好次

香川大学学長補佐

久保田 弘敏

東京大学大学院工学系研究科教授

小林 康德

文部省宇宙科学研究所教授

鮫島 秀一

NTTサテライトコミュニケーションズ(株)

代表取締役社長

塩野 登

(財)日本電子部品信頼性センター調査研究部長

下河 利行

科学技術庁航空宇宙技術研究所

構造研究部疲労強度研究室長

鈴木 洋夫

科学技術庁金属材料技術研究所プロセス制御研究部長

鈴木 良昭

郵政省通信総合研究所宇宙通信部長

棚次 亘弘

文部省宇宙科学研究所教授

中島 厚

科学技術庁航空宇宙技術研究所革新宇宙プロジェクト推進センター

有人宇宙技術研究グループリーダー

野中 保雄

東京理科大学工学部教授

古田 勝久

東京工業大学大学院情報理工学研究科教授

松岡 三郎

科学技術庁金属材料技術研究所

フロンティア構造材料研究センター評価ステーション第2ユニットリーダー

松崎 雄嗣

名古屋大学大学院工学研究科教授

三浦 秀一 ○

宇宙開発事業団理事

宮島 博

科学技術庁航空宇宙技術研究所

角田宇宙推進技術研究センター長

横山 正基

日本放送協会技術局テレビ中央送信室長

○印の専門委員は、今回の調査審議については説明者として参加。